

創薬オープンイノベーションネットワークの構築

Creating an Open Innovation Network to Accelerate Drug Discovery

小島 宏建¹，有賀 寛芳²

¹東大創薬オープンイノベーションセ，²北大院薬

製薬業界では世界的に製品化合物の特許切れ、創薬標的の涸渇等の問題が論じられる中、アカデミアを含めた外部組織との連携、いわゆるオープンイノベーションによる創薬の試みが盛んになりつつあり、日本の大手製薬企業にも共同研究を公募する新たな動きが見られる。我が国のアカデミアにおいても、東京大学に低分子化合物 20 万種を所蔵する公的化合物ライブラリーが構築され、サンプルを必要とする研究者が産学官問わず実費負担のみで利用可能になっており、さらに文部科学省最先端研究基盤事業「化合物ライブラリーを活用した創薬等最先端研究・教育基盤の整備」において全国 6 大学からなるスクリーニング拠点が設置された。これら拠点で整備された機器は共用で、機器と制度が整い次第、他機関に所属する研究者にも広く開放される。公的化合物ライブラリーやスクリーニング拠点と連携することで、アカデミアや化合物ライブラリーを保有しない企業では困難であった探索段階から始める活性化化合物の創出やツール化合物発見による創薬標的評価等の研究の進展が見込まれ、アカデミア側からも創薬オープンイノベーションのための研究基盤が極めて利用しやすい形で提供されている。

シンポジウムでは本取組を進めている方々にそれぞれの最新の状況について紹介していただくことになっているので、ご参考にしていただき、是非この機会にご利用を検討いただきたい。